

新しい平泉中学校の 改築計画がまとまる

5月着工を予定―明るく暖かみのある校舎へ



新しい平泉中学校の完成予想図

平泉中学校改築に係る基本構造とデザイン・配置計画がこのほど、大筋で決定しました。同校改築検討委員会（会長・千葉庄悦平泉商工会長）が昨年12月16日に開いた第4回会議で、町教委の実施設計を了承。町教委は町議会12月定例会での補正予算案の議決を17日に得ました。今後は県への建築確認を2月上旬に申請し、業者指名委員会や入札会などを経て5月に着工する予定です。



新校舎に取り入れたい空間などについて話し合ったワークショップ

映されました。また田代久美宮城大学助教の指導の下、中学校生徒と教師、PTA、一般住民を交えたワークショップが開かれました。既存校舎の空間を見つめ直し、新しい校舎に取り入れたい空間などについてグループごとに意見交換。この内容も計画に盛り込まれていき

ました。配置計画では、現在の校舎南側に新校舎を配置。既存の体育館には渡り廊下で接続します。既存の町民プール（50メートル）を解体し、跡地には駐車場、駐輪場、倉庫・部室棟を配置。新たな学校プール（25メートル）については東側に設置します。延床面積は約3810平方メートル、構造は2階建て鉄筋コンクリート造りです。総事業費は概算で約13億円を見込んでいます。

新校舎の特徴

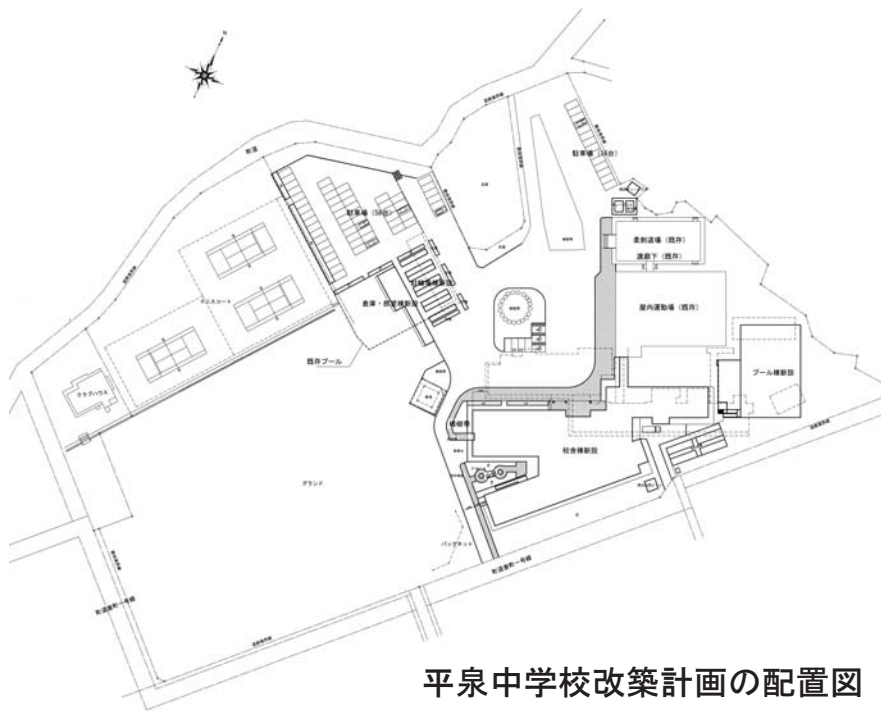
校舎中央に吹き抜けの交流ホールを設け、オープンスペースとします。各種イベント、集会などでの使用も可能となり、交流の拠点とします。図書室はロビーカウンターを設置し、セミオープンとします。交流ホールと併設することで、一体的に開放的な空間を創出します。採光として、天井と壁面に窓を設けるトップライト、ハイサイドライト方式を併用し、明るい校舎となるよう配慮します。校舎東側はカーテンウォール（ガラス張り）とし、束

稲山を眺望できます。内装には木材をふんだんに使用し、暖かみのある優しい空間を創出します。将来の完全給食へ向けた対応として配膳室を設置します。環境へ配慮するため太陽光発電パネルを設置し、環境学習としても活用します。雑用水は雨水を再利用する

ことから、雨水貯留ピットを設置します。防災拠点施設として位置付けます。

工事の予定

校舎建設（解体含む）、環境整備Ⅱ22 23年度工事
プール建設、体育館・柔剣道場耐震補強Ⅱ24年度工事



平泉中学校改築計画の配置図

Interview

**完成が
待ち遠しい**

平泉中学校生徒会長
小野寺陸さん（2年）



昨年10月に開かれた平泉中学校改築のためのワークショップに参加し、校舎内で自分たちにとって大切な空間、新しい校舎に取り入れたい空間などについて生徒や先生と話し合いました。

今の校舎内は暗い雰囲気があり、使いづらいところもあるので、改築後は明るい雰囲気の中で楽しく勉強できるような校舎になってほしいです。

新しい校舎ができるのは卒業後になってしまいますが、完成が本当に楽しみです。後輩にバスケットを教える機会などに新校舎を隅々まで探索してみたいです。